

常に新に

白糸だより(舞鶴市立白糸中学校)

通算 1406 号令和2年5月7日発行

HP: <http://shiraito.maizuru.ed.jp>

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる 生徒の育成

生徒の皆さん、学校が再開するまで元気に過ごそう！

いよいよ新緑がまぶしい5月がスタートしました。今年はいつもとは違うゴールデンウィークが終わり、今までの当たり前の生活が当たり前でないことを痛感している毎日です。つい数ヶ月前、今年は東京オリンピックの年として令和初の新年を迎えた時は、現在の状況を想像もしていませんでした。

4月には、各学年とも順調な新年度のスタートがなされ、「さあ、これから」と言う時に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、再び休校することになってしまいました。そして、5月になっても感染拡大がおさまらないので、5月31日(日)まで休校を延長することになりました。

さて、皆さん「外出は自粛!!」の今、どう過ごしていますか。最初は学校が休みになり喜んだ人もいたかもしれませんが、だんだんと日がたつにつれ、友達と会えない寂しさや授業、部活動、行事、受検などはどうになってしまうのだろうと心配や不安がたくさん出てきているのではないのでしょうか。皆、同じです。先生たちも日々皆さんが休業中の不安が少しでも解消できるように、また、学校が再開したらどうしていくか。もちろん感染予防のための制約もたくさん出てくるとは思いますが、その中でできる限り効果のある教育活動を実施していこうと考えています。学校再開後のことは、**心配しないでください。**

今は感染予防！！自分だけでなく身近な人への感染予防をしっかりと行っていきましょう。そして、**たっぷりある時間を有意義に**過ごしてほしいと願っています。なかなか時間を有効に使えない人もいるかもしれませんが、「のんびり、ダラダラと過ごす機会はそんなにないし、これも良いかもしれない・・・」、こう思うかもしれませんが、そろそろ切り替えましょう。自分で毎日の計画立てて、この多くの自由になる時間を有意義に使ってください。学習課題や自主学習は確実にする、趣味に没頭する、読書をする、家の手伝いをする、昇段や検定に挑戦する、身体を鍛えるのもいいと思います。ゲームもいいけど時間を区切りましょう。興味がある人は、なぜ今回の感染症が拡大したのか、他の国はどんな手を打っているのか、歴史的に見て過去に感染症拡大はあったのか、その時人々はどのように対処したかなどをじっくり調べるのも自主学習として良いですね。この機会に「**何かにチャレンジできる！！**」と、この休校をマイナスと捉えず、プラスに捉えるようにしましょう。そして、学校再開に備えてしっかりと充電してください。皆さんの元気な瞳、元気な顔、元気な姿を楽しみにしています。

外出の自粛などでストレスがかかることもあると思いますが、蜜には十分注意して体を動かすなどして、上手に解消してください。不安や心配があるときや困っているときは、気軽に学校に電話をするなど、**誰かに「ヘルプサイン」を送ってください。**先生も交代で学校に來ています。一緒に考えましょう。毎日を心穏やかに、そして健康に過ごしてほしいと望むばかりです。



医療従事者へ感謝!! 今、私たちがすべきこと…。



新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、医師や看護師をはじめ全ての医療従事者の方に感謝の気持ちを表すタワーのブルーライトアップがニュースになっていました。ブルーライトアップの取組は、最前線で新型コロナウイルスに立ち向かい、危険と隣り合わせで治療や看護にあたっておられる医療従事者への感謝の気持ちを示そうというもので、京都タワーや東京タワーなど、全国11カ所のタワーが協力して行っているそうです。「青色」は、イギリスで国営の医療サービスを象徴する色で、ロンドンで始まったブルーライトアップの取組は、今では世界中に広がりを見せています。

自分も感染するのではないかと、また、もしかしたら無症状感染をしていて、家族や周囲の人に感染させるのではないかと、誰もその不安を感じながら一生懸命生きているのが現状です。そのような中、医療関係等の現場で働いておられる皆さんは、いろいろな心配があっても、患者さんの命を救うために最前線で未知のウィルスに立ち向かっておられます。タワーのライトアップの他にもタレントの木村拓哉さんがジャニーズ事務所の公式YouTubeチャンネルで医療従事者から届いた手紙を朗読し医療現場の声を紹介するなど、医療従事者への感謝の気持ちを伝える輪が広がっ

ています。

今の厳しい状況の中で人々の生活をしっかりと支えている仕事は医療従事者だけではありません。スーパーなどの食料にかかわる仕事、介護にかかわる仕事などたくさんあります。頑張っていていただいている全ての方に感謝するとともに、今「自分ができることは何か」「自分のすべきことは何か」をしっかりと考え行動しなければなりません。私たちは、これ以上感染が広まらないように自分にできることを最大限心掛けていかなければならないと思います。

校長 廣瀬直樹・教職員一同